

庚申庵  
史跡庭園  
開園20周年  
記念

愛媛大学俳句・書文化研究センターシンポジウム

# 「伊予の俳諧レガシー」

庚申庵(縁側から見る藤棚)

日時 令和5年**12月9日(土)**  
13:00~15:45 (開場12:30~)

参加申込締切  
**12月1日(金)**

会場 **愛媛大学南加記念ホール** (城北キャンパス内)

定員 **150人** (先着順) ※定員になり次第、受付を終了させていただきます。

開催方法：会場及びオンライン(Zoom)による併用開催(要事前申込)

主催：愛媛大学俳句・書文化研究センター  
NPO法人GCM庚申庵倶楽部

後援：愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、四国中央市、西条市

## プログラム

【開会挨拶】若林 良和 (愛媛大学 理事・副学長/社会連携推進機構長)

【報告1】松井 忍 (NPO法人GCM庚申庵倶楽部 理事長/俳句・書文化研究センター客員研究員)  
「庚申庵が伝えてきたもの」

【報告2】福田 安典 (日本女子大学文学部教授/俳句・書文化研究センター研究協力者)  
「栗田樗堂百五十年記念遺墨展であったこと  
—黒星乃翁を追う—」

【報告3】三宅 媛子 (暁雨館(郷土資料館)学芸員)  
「宇摩の俳諧～暁雨館を中心に～」

【報告4】友澤 明 (小松温芳図書館・郷土資料室 学芸員)  
「小松藩用人・長谷部映門の文芸サロン」

【質疑応答】(司会)小助川 元太 (愛媛大学教育学部学部長/俳句・書文化研究センター長)

参加  
無料

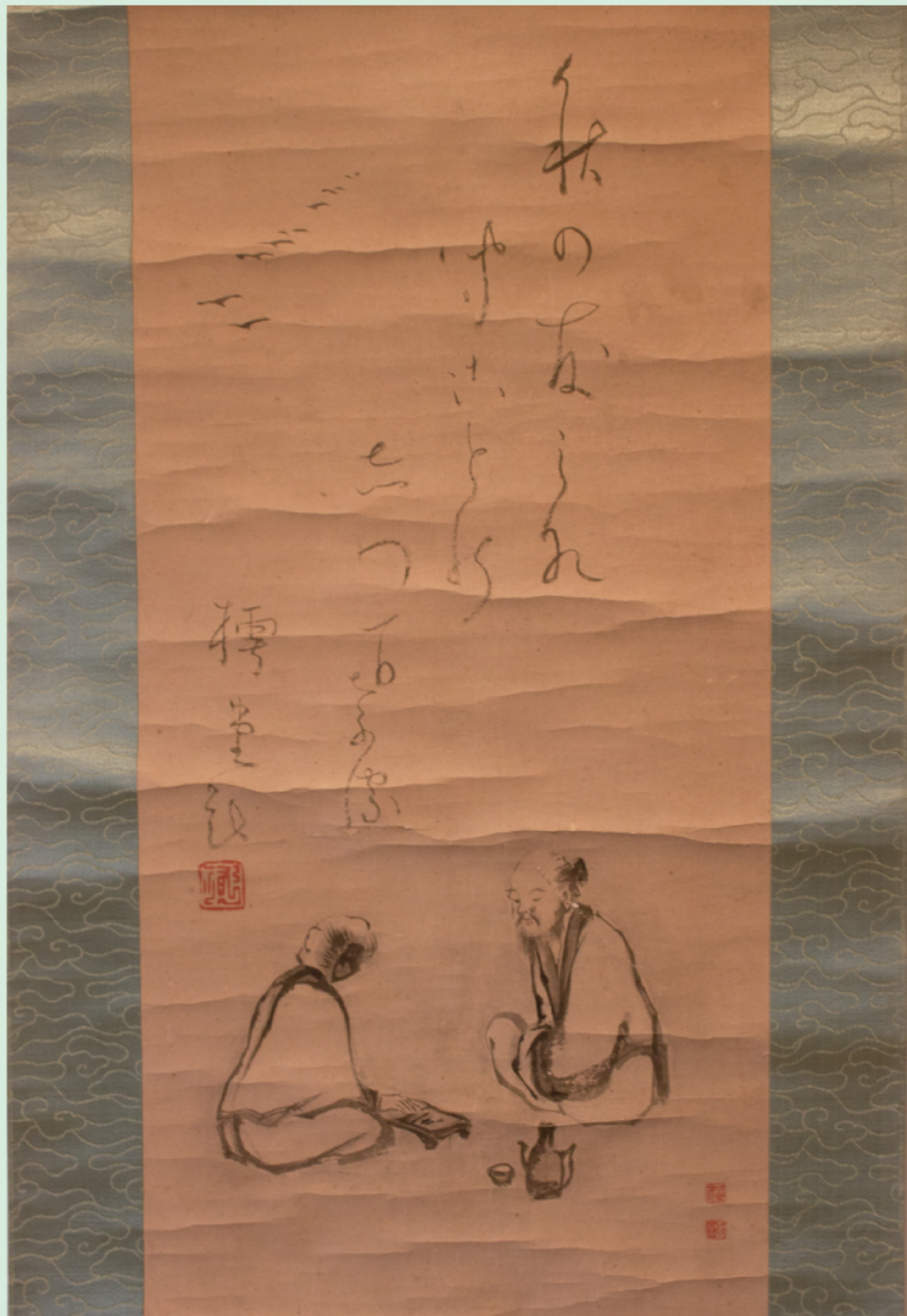
参加申込み方法は裏面



## 開催趣旨

レガシーとは、先人が守り、われわれが次世代につなげていかねばならない文化遺産のことです。愛媛には伊予国と呼ばれた頃より、俳諧に関しては作品のみならず、建物、人、書画が多く遺されています。その総数はおそらくは全国屈指でしょう。このたびはその俳諧レガシーの保存、未来への継承に尽力されている諸機関と関係者を愛媛大学俳句・書文化研究センターに一堂に会してシンポジウムを開催することとなりました。

折しも松山の俳諧レガシーの代表格である栗田樗堂の庚申庵史跡庭園開園20周年記念にあたります。多くの方の御来学をお待ちしております。



栗田樗堂の軸(秋の友)



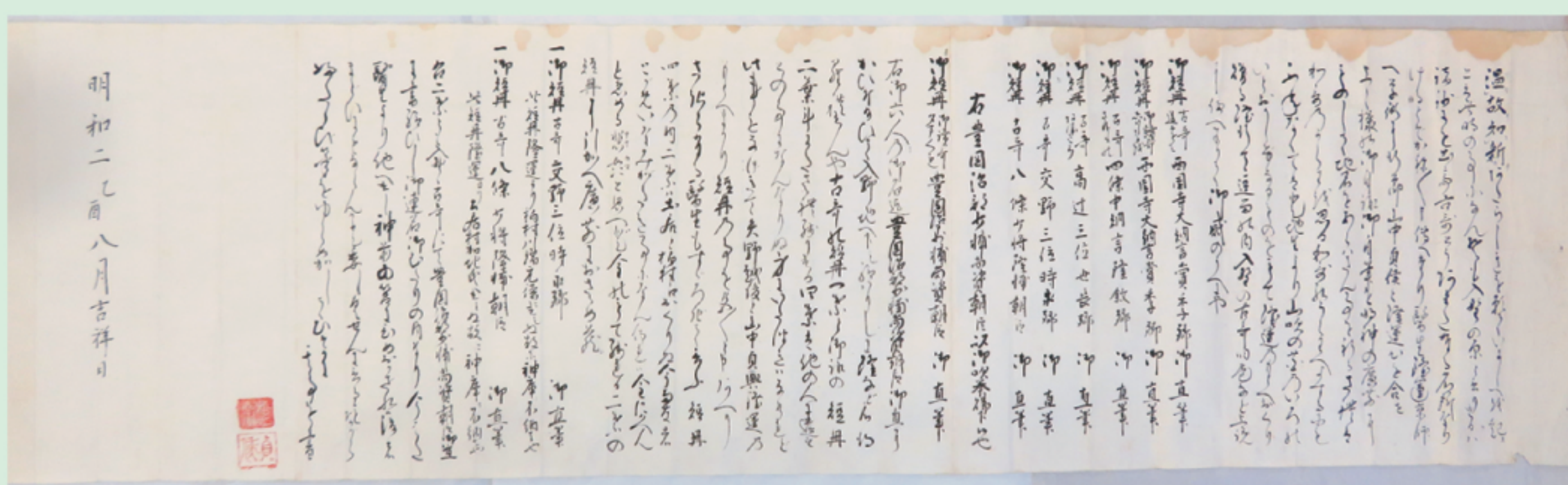
栗田樗堂の軸(けいふかなくは)



長谷部映門屋敷の長屋門



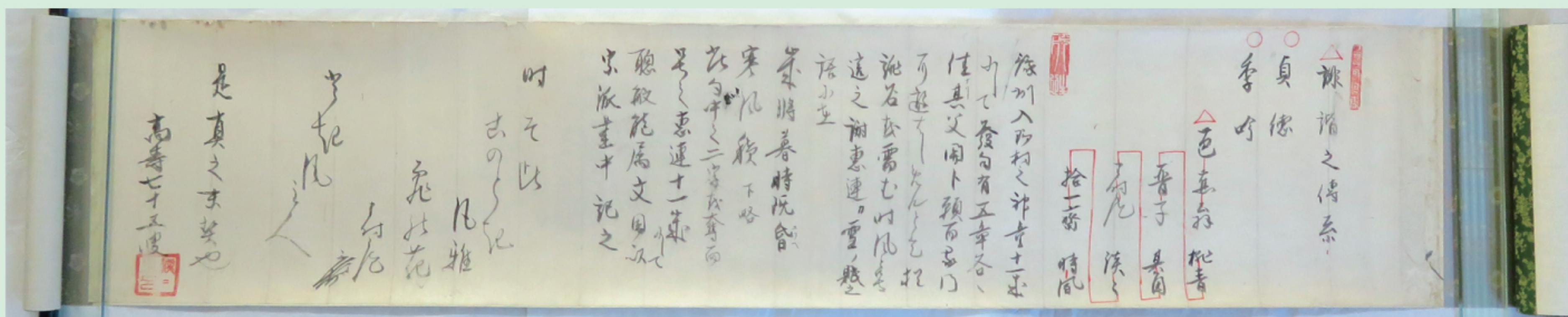
乃翁短冊



神庫奉納入野古歌短冊之事(四国中央市教育委員会蔵)



長谷部屋敷の長屋門・家紋瓦



俳諧之伝系(四国中央市教育委員会蔵)



長谷部菊圃像「俳諧ちなみぐさ」

参加については以下のフォームからお申込みください。

URL <https://forms.office.com/r/vAmxJvuj8E>

■お問い合わせ 愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室

メール: [chiki@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:chiki@stu.ehime-u.ac.jp)

TEL: 089-927-8512 ※月~金(祝日を除く) 9:00~17:00



\*いただいた個人情報は、本シンポジウムに関するご連絡以外に使用いたしません。

\*大学構内には駐車スペースはございません。近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

\*オンラインの場合は、パソコン、スマートフォン、タブレットでの参加が可能です。※Wi-Fi環境を推奨